

取手市医師会健康教室

水ぼうそうとワクチン

水痘（水ぼうそう）はありふれた感染症であり、幼児・学童に多く、1年を通じて患者が発生しますが、特に冬から春にかけて流行します。

水疱出現1～2日前から、水疱が痂皮化するまで感染力があり、感染経路は水疱あるいは気道からの空気感染と考えられています。このため、伝染力は強く、家族内感染は90%以上、不顕性感染は少ないといわれています。

一般に、健常児の水痘は合併症も少なく軽い病気と考えられ、このため水痘ワクチンの必要性について疑問を抱く保護者も多くいます。しかし、よく調べると、麻疹よりは少ないものの、重い合併症を起こしたり死亡する人もいます。米国では、水痘ワクチンが使われる前は年間100～150人が水痘で死亡し、その多くが健康な人といわれています。日本でも多くの子どもたちが水痘のために入院しています。

また、水痘の発疹は強い痒みを伴い、病気を経験した方にしか、その不愉快さはわかりません。治るまでに7～10日かかり、その間、登園・登校はもちろんのこと、外出することも許されません。現在では共働きの家庭が増加し、子どもが水痘に罹患すると感染力がなくなるまで保護者も看護のための休職を余儀なくされることも大きな問題です。発疹消退後に点状白斑が残存することもあり、特に思春期の女子では美容上の観点から保護者の注意を引いています。さらに妊婦を含めた成人が感染すると肺炎を発症することが多いともいわれています。

一方、水痘ワクチンの効果と安全性に関して不安を抱く保護者もいます。保護者の間では、「ワクチンにより疾患を予防することは困難であり、軽症化させる一手段にすぎない」という認識も強くあります。この点については、水痘ワクチンにより85%程度が完全に発症を予防することができ、残りの予防できなかった例についても、その重症化は100%近く防げるといえることが、これまでのデータで報告されています。

このように水痘は、麻疹などと比較すると多くの場合軽症ですが、さまざまな問題を引き起こす可能性があり、またこれに対して安全で有効なワクチン（日本で開発）がありますから、ぜひ接種して水痘を予防したいものです。

●守谷市では、水痘（水ぼうそう）ワクチン接種費用の助成をしています。詳細は、市保健センター（☎48-6000）までお問い合わせください。



8020 高齢者
よい歯のコンクール

▼対象 昭和7年3月31日以前生まれ（80歳以上）で、自分の歯（治療済みの歯を含む）を20本以上お持ちの方※本コンクールで入賞歴のある方を除く▼応募方法「郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、性別、生年月日、電話番号、かかりつけ（または最寄りの）歯科医院」をはがきに記入し郵送で、または任意の用紙に記入し

FAXで応募する▼応募期限 7月20日（金）必着▼審査（1次）応募者に送付される口腔診査票を持参し、県歯科医師会会員の歯科医院で検診を受ける（検診料は無料）／（2次）書類審査▼入賞者 最優秀1人、優秀5人、シニア賞1人▼表彰 県民歯科保健大会（11月11日（日））で表彰予定▼応募・問合せ 茨城県歯科医師会 8020事業係 〒310・0911 水戸市見和2丁目292



献血

輸血を必要としている患者の生命を救うため、献血にご協力をお願いします。▼日時 7月17日（火）午前9時30分～午後4時※昼休み中も実施▼会場 市役所大会議室▼協賛 市ライオンズクラブ、(社)竜ヶ崎法人会 守谷地区会▼問合せ 保健センター ☎48・6000



茨城県職員
(看護師)

▼採用予定人員 ①医療・福祉施設等 11人程度②専任教員 1人程度▼勤務場所 ①県立医療大学付属病院、県立リハビリテーションセンター等（病院は中央病院、こころの医療センターを除く）②県立中央看護専門学校▼試験 7月29日（日）午前9時～茨城県庁（水戸市笠原町978・6）※論文試験、適性検査、口

述試験（個別面接）▼受験資格 平成25年4月1日現在、満45歳未満で、①看護師免許を現に有する方②看護師として必要な業務に従事し、かつ、専任教員に必要な研修・講習を修了した方または大学で教育に関する科目を合計4単位以上取得して卒業した方※いずれも見込み者を含む▼申込締切日 7月20日（金）（消印有効）▼問合せ 県総務部人事課 ☎029・301・2278